



議会だより

このえ

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成29年1月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野止8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

西の年

貴方の夢が

羽ばたくように

No.116 2017.1.17発行

12月定例会

- 平成28年第4回定例会 P.2
- 議長新年あいさつ ほか P.3
- 町過疎地域自立促進計画変更 P.4
- 常任委員会報告 P.5
- 各種活動報告 P.7
- 一般質問 7名 P.8
- わたしのひとこと P.15

飯田・中村下二 時松 照子^{さん}

野上・中央三 日野隆一郎^{さん}

宝っ子夢フィールド(東飯田公民館)

平成28年第4回定例会

本定例会は12月1日から16日までの16日間開催されました。
議案21件、請願1件、発議1件を慎重に審議いたしました。

平成28年度一般会計補正予算(第6号)

補正額	4億8,976万円増額
補正後の額	85億2,540万円

◆ 補正予算ピックアップ ◆

歳入

- 普通交付税の交付決定に伴う追加 2億7,223万円
- 臨時財政対策債の発行可能限度額決定に伴う減額 ▲1,582万円
- 東飯田小学校（管理棟）大規模改造事業に伴う地方債の追加
..... 2億5,000万円
- 財政調整基金繰入金の減額 ▲1億9,500万円

歳出

- 東飯田小学校（管理棟）大規模改造事業の追加 .. 3億3,430万円
- JA九重町飯田ライスセンターの施設拡大事業に伴う追加
..... 8,644万円
- 国土調査事業の前倒しに伴う追加 4,811万円
- こども園、臨時職員有資格者待遇改善・待機児童解消対策に伴う追加
..... 1,068万円



産地パワーアップ事業で改修されるJA九重町飯田ライスセンター

新年のごあいさつ

議長 小川 克巳



新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、4月に発生した「熊本・大分地震」で町水道の水源池崩壊による断水や、県道飯田高原中村線的路肩崩落で長期にわたる全面通行止など、町内各地で災害が発生し、住民生活に多大な影響を及ぼしました。また、8月の日照りによる水不足の影響や、秋は逆に長雨で農作物の収穫作業など困難を極めるなど、災害に明け暮

れた一年であったようにも思います。

秋には24年間の坂本町長が勇退され、日野町長のスタートとなりました。地方創生に向け課題が山積しています。が、自律のまちづくりを着実に進めてほしいと思います。

議会としては、町民の代弁機関として、住民の生活安定と福祉の向上を目指し、活力ある町づくりを進めていきたいと思っています。

本年が皆様方にとって良き年となりますよう、ご祈念申し上げて新年の挨拶いたします。

教育委員会教育長の
任命に同意



濱田 淳氏 (60)
玖珠町森

欠員だった教育長に、濱田淳氏(前このえ緑陽中学校長)を任命することに満場一致で同意しました。濱田氏は、九重町内の中学校には15年間勤務され、2016年3月末に定年退職されました。なお任期は3年間です。

新議員に

麻生良典氏(62)

欠員に伴う町議会議員補欠選挙(10月11日告示)で、麻生良典氏(東飯田・北恵良三)が無投票当選となりました。任期は、2019年2月15日の改選時までです。所属委員会は、総務建設産業常任委員会です。

平成28年 第6回臨時会(10月24日)

水道特別会計補正予算(第3号)を可決

補 正 額 4億1,850万円 増額

財源

国庫補助金 2億0,350万円
町債(借入金) 2億1,500万円

「平成28年度熊本地震」に係る水道施設の災害復旧事業費の追加で、仮復旧工事に続き、河内の予備水源を利用した復旧工事を追加するものです。

町過疎地域自立促進計画の一部を変更

過疎地域自立促進計画に次の4事業を追加しました。

産地パワーアップ事業

飯田農協のライスセンターに米の光選別機、自動計量・自動給袋包装機、粳穀判別機、米粒食味計、集塵装置、粳穀庫などを導入するもの

畜産競争力強化整備事業

平成29年度に、繁殖牛舎を建設し、経営体の取り組みを後押しするもの

九重町農業振興整備計画策定事業

実態を把握し、情勢に対応した計画にするため、見直しを行うもの

林道梶屋線トンネル補修事業

28年度調査の結果、危険箇所が判明したため、補修工事を行うもの

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を国に提出

地方分権時代を迎えた今日、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。しかし、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。 ※意見書の内容は抜粋です。

工事請負変更契約を可決

* 契約の対象 南山田公民館新築工事（建築主体）

* 契約金額 変更前 1億6,504万5,600円
変更後 1億6,718万7,240円
(214万1,640円増額)

* 契約の相手方 新成建設株式会社 玖珠支社

(変更の理由) 当初設計で想定できなかった解体に伴う発生材等の数量および地盤改良に伴う実施数量が確定したためと、現地土質が悪く、地盤改良工事に伴う安全確保のための仮設鉄板敷きの追加、建物位置の変更に伴い、アスファルト舗装撤去の数量変更が発生したため。



建築中の南山田公民館

選挙管理委員及び補充員を選出

〈選挙管理委員〉 穴井 岩夫さん(東飯田・下旦三)
武石 裕臣さん(野上・甘川水)
馬場 康雄さん(飯田・無田下)
矢野 福美さん(南山田・中板)

〈補充員〉 順序1: 麻生 成子さん(東飯田・北恵良二)
順序2: 野木 敦子さん(飯田・荻釣下)
順序3: 日野 雅博さん(野上・中央三)
順序4: 足立 芳郎さん(南山田・富迫下)

審査報告

議案
7件

請願
1件

可決された案件

道路廃止について

町道田尻中須線が県工事の嫁田川砂防ダムの工事により、道路が付け替えられ延長が変更となったため、現町道を一旦廃止するものであり可決しました。

道路認定について

町道田尻中須線が県工事の嫁田川砂防ダムの工事により付け替えられて完成したこと



田尻中須線付替完成(上流砂防ダム)

により区間及び総延長に変更が生じたため、延長を確定し新たに道路認定をするものであり可決しました。

職員の給与に関する条例の一部改正について

二〇一六人事院勧告の内容に基づき、国家公務員の給与改定が行われることから実施するものであり、改正内容は月例給については、〇・二四パーセントの給料表の改定を行い、期末勤勉手当については、勤勉手当の支給月数を年間で〇・一月分の引き上げを行うものであり可決しました。

各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について

農業委員及び農地利用最

適化推進委員の積極的な活動を支援するため、委員の活動・成果に応じた手当をこれまでの年額報酬に上乘せして活動に対して、一定の実績に応じて支払われるものであり可決しました。

国民健康保険税条例の一部改正について

所得税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い当該条例について整備を行うものであり、改正内容は日本と台湾の間で租税条約に相当する枠組みを構築するため、所得に対する租税の二重課税の回避及び脱税の防止のためのものであり可決しました。

九重町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定について

新しく建設される町営奥野住宅の条例を定めるものであり、子育て世帯、新婚世帯及び若者単身世帯を



建設中の奥野住宅

町税条例等の一部改正について

対象とした地域優良賃貸住宅として設置するため、住宅の設置や管理に関する条例を制定するものであり可決しました。

改正内容は、

一、法人町民税として、法人税割の税率を改正する。

二、軽自動車税として、現行の軽自動車税を種別割に名称変更をし、また、新たに軽自動車税環境性能割を創設する。

三、個人住民税として、所得控除におけるこれまでの医療費控除と今回の特別措置における医療費控除は、申請者の選択によりどちらか適用する。というものであり可決しました。

採択された請願

犯罪被害者等の支援に関する条例の制定を求める請願について

九重町民のだれもが犯罪の被害者となる可能性がります。犯罪被害者、その家族又は遺族の視点に立った支援策を講じることにより、権利利益の保護が図られる社会の実現は必要です。九重町としても町民である犯罪被害者等がいつでも必要な支援を途切れることなく受けられるための取り組みの施策は必要であり、請願の趣旨は理解できるところから採択しました。

審査報告

議案
4件

国保等の健診料
無料になります

九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正

健康診査の受診率向上を図り、生活習慣病等の予防や重症化を防止し、将来の医療費抑制につなげるため、負担金を無料とするものであり可決しました。

九重町指定地域密着型介護予防サービスに係る申請者の要件並びに人員・設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

認知症対応型通所介護にあたって、地域との連携や運営の透明性を確保するためのものであり可決しました。

九重町指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員・設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

通所介護のうち、定員が18人以下のものを、指定地域密着型通所介護として位置づけるための基準を追加するものであり可決しました。
このほか一議案を可決

健康診査負担金の改正

国民健康保険 40歳以上 70歳未満	特定健診(巡回健診)の負担金 1,300円を無料に
	特定健診(施設健診)の負担金 1,500円を無料に
19歳以上 40歳未満	基本健診(巡回健診)の負担金 1,700円を無料に

議案審議の他、 こんな調査、検証 をしました (主なもののみ)



みつばこども園

こども園の課題

待機児童解消は重要な問題です。人員確保が条件ですが、年度途中での入園希望、特に0才児など年少層等、予想しにくい面があります。今まで十分とはいえなかった、臨時保育士の待遇改善も、今回行いました。

重ねて、担当課には、待機児童ゼロにむけた努力を申し入れました。

地域に見える園づくりも必要です。統合したばかりで、対応がむずかしいことも理解できますが、今後は小・中学校との交流、地域行事への積極的参加など、地域の方々に見守られる取り組みを要望しました。

宝泉寺交通センター
飯田クロスカントリー
現状を検証

宝泉寺交通センターは、地域の団体が、観光客誘致などを目指し、運営することになっていますが、計画どおりに進んでいないようです。担当課に原因の報告を求め、しっかりサポート及び指導することを申し入れました。

飯田のクロスカントリーは、町観光協会の事業ですが、町も支援を行ない、予算化もされています。

利用状況などの報告を求め、今後の考えなどを検証しました。

関東くす・このえ会に参加して

議長 小川 克巳

毎年、関東、関西それぞれくす・このえ会を開催
議長、副議長が出席しています。

第37回の関東くす・このえ会の総会、懇親会が、東京日暮里のホテルで昨年11月13日に開催されました。

当日は、東京を始め神奈川、千葉、埼玉などから200名を超す参加者があり、交流と絆を大いに深めることができました。

私は初めての出席でしたが、特に九重町出身者には地元に当然、兄弟や姉妹や親などの知人が在住しており、懐かしく親しく話題に事欠きませんでした。参加者の多くは、学校卒業



ふるさとを想い、みんなで合唱

後、関東一円でそれぞれ、仕事に従事し、退職者もいれば、現職で活動されている人もおり、様々な分野で活躍されている様子がわかりました。

部落解放同盟との対話会 人権同和問題への取り組み —就職・結婚に未だに厳しい現実—



グループに分かれ、差別の現実を学ぶ

12月14日、毎年行われている、部落解放同盟九重支部との対話会を行いました。

歴史を学んだ後、3つのグループに分かれて、意見交換を行いました。

● 以前のように、表だった差別は減ったが、見えない所で、根強い就職・結婚差別が今もあること。

● 本当のことを知らず、人を傷つけてしまう危険。地道でも、学習を継続、広げていくことの大切さ。

● 子ども達の将来のためにも、私達が学び、解消に努める責任がある。

様々な意見が出され、正しい事を、正しく理解し、同和問題をはじめ、あらゆる差別解放への取り組みが、全ての町民の明日を輝らすこととなります。

今後とも一層、運動体、行政、議会及び町民が一体となつて努力していくことを確認して、会を終了しました。

町政を質す 一般質問

7名の議員が質問 夜間議会にて開催

「町づくり会議」の有効活用と 活動状況の見える化を

..... 提案のとおり進めていく



井上 里子

井上 「町民が考える町づくり会議」の任務は、町民に代わって町政に関して意見・提言を述べることであり、町としては、「町づくり会議」を広く活用し、住民主体の町政を進めることとなっている。「町づくり会議」がその役割を十分に果し、その活動状況が町民に見えるような「町づくり会議」の運営が望まれる。

町長 「町づくり会議」は

月一回会議を開催している。本年度は、地域交通について議論してもらっているが、

まだ提言が出されるまでにいたっていない。今まで提言があったものは、財源が許す限り総合戦略等に盛り込みながらやっている。

提言内容等は、広報等で知らせて、住民との共有化を図っていききたい。

井上 平成21年に出された提言書（町ぐるみで進める地産地消の推進方策、具体策案）の今後の活用は。

町長 今後は目標数値を設

● このえ夢ブランド創造事業 取り組み状況は

井上 本事業は、産業界、行政機関、教育機関、金融機関と連携して、農業と観光面のブランドを創造し、町の基幹産業の創生を図るためとして、その協議会が今年5月に発足し、その下部組織として4つの分科会（地産地消分科会、特産品開発と6次産業分科会、観光商品企画分科会、起業と第2次創業分科会）が設置され、取り組みが始まっている。その分科会の取り組み状況をお聞きする。

町長 4つの分科会の委員構成は5～6名。現在までの会議開催数は2回～3回。それぞれの分科会がテーマにそって議論をしたり研修をしたりしている段階。どの分科会も課題があるので、それらを解決しながら取り組みの成果を出したい。

● ウォーキングコース の整備を

井上 健康づくりや介護予防等のために、日常生活の中に歩くことを習慣化している高齢者が多い。歩く場所によっては、車の行き来がかなりあり、人によっては安全に歩にくい状況がある。安全で歩きやすいウォーキングコースを旧東飯田中学校グラウンド内の外周に整備する方向で検討してもらいたい。

町長 提案を聞いたばかりで、財政的な問題もあるが、今後しっかり検討していきたい。



旧東飯田中学校グラウンド

麻生
良典



総合戦略の基本目標Ⅰ “安定した雇用の創出”の 進捗状況や現状分析は

..... 町100%出資会社設立を見直す

● 新たな就労の場は 創出できているか

麻生 町100%出資株式会社、農業公社の設立、企業誘致期成会の設立、それぞれの進捗、対計画比、現状分析や予定は。

町長 町出資会社については、住民説明会での意見を踏まえて役場内で議論を重ねたが、職員間で会社設立の目的等が共通認識できていないことが分かり、改めて協議を行っている。大きな課題は、行政の効率的運営面では幾つもの事業を町出資会社に委託したいが地元事業の育成との折り合いが難しいことである。町が100%出資する意義は町内で経済が循環することにあるため、代替策についても再度検討し方向を定めたい。そのため本年11月に設立し来年4月から業務開始する計画は変更する。

農業公社に関しては、町出資会社の設立を優先して取り組んでいるため進展はない。増加する耕作放棄地を活用し

た農業経営を目標としており、農協等の関係団体と協議し設立に向けて取り組んでいきたい。

企業誘致期成会は、昨年九重町・玖珠町・県議で立ち上げた。関東くす・この会等でPRし、大分県へは誘致支援を依頼した。サービス業中心の現状では製造業の誘致は困難。

● 新しい力による 産業の振興は 成果を上げているか

麻生 産業の活性化に欠かさない担い手を育成するための5つの事業、後継ぎ促進等に関する実績は。

町長 後継ぎ促進に関する問い合わせはあったが申請は無い。起業・第二創業では創業セミナーを開催し、受講者数はこの2年間で20名であった。

起業支援補助では1件発生し、野上地区でレストランが開店した。就農研修生受入農家支援では、トマト就農を希望する3名が栗原で研修を受けている。青年就農給付金を



フェアで九重町のPR

受給している方は今年度で7名である。
これらの事業は町報等でお知らせしている。東京、大阪、福岡等で開催されたふさと回帰フェアや就農フェアでも紹介した。制度を利用して



新規起業した野上地区のレストラン

いるのは福岡の方が多く、町外活動が効果的である。

● 総合戦略の進展や 計画を町全体で 共有すべき

麻生 総合戦略は住民と行政で策定したため、重要業績評価指数（KPI）を基に定期的に振り返り、我々住民に知らせるべきでは。

町長 住民の方々への周知と住民と共に歩むことが行政で最も重要である。本年6月に総合戦略審議会で昨年度の検証を行った。今後は広報やホームページで年1回はお知らせする方向でしっかりと検討する。

組織機構の検証は

..... 現状を考慮しながら検討する



有吉 富生

● グループは適正な課に設置されているか

有吉 課の統合によりグループが本来あるべき課でなく、くつつけられて移動していないか、町民に理解できるような周知が必要では。

町長 時代のニーズに即した機構改革を行ってきた、今後の変革については町民周知を行っていくが、なるべく変えないよう対応する。

● 課長補佐設置の必要性は

有吉 職員の指導や課の統制を考えると、課長の補佐やリーダーの統制が必要と思われるが、課長補佐設置の必要性はないか。

町長 各々のリーダーが課長補佐の役割を担うのが現状だが、職員が若くなる中で、リーダーや課長の役割を考えると、課長補佐の役割を再度検討していく。

● 職員、及び臨時職員の採用については

有吉 雇用場である、町の職員の採用は、町内者のみにはできないのか。

町長 公正な職員採用を行うという観点から、九重町民に限っての採用ということにはならない。

有吉 今年の臨時職員が八十四名いるが、機構改革で計画的に職員を減らしてきて、臨時職員が増えていると思われるが、職員数の検討と臨時職員の待遇改善が必要では。

町長 本来職員を増やすことが、一番いいことだが、財政等を考慮し今はこの方法しかないが、今後において雇用場の確保から臨時職員でなく職員にしていくことは検討する。



九重“夢”大吊橋施設駐車場

● 大吊橋が十年を迎えたが、町に与えた影響は

有吉 大吊橋の十年の記念行事が行われ一千万人が目になっていくが、町に与えた影響、効果は大きいと思うが総括しているか。

町長 認知度は高まっている。収入額も五十億五千万となり、町民へ医療費の支援等を行っている。また町民には直売所の出店や雇用にも結びついている。

有吉 町内の宿泊については大吊橋ができる前から課題だったが、大吊橋で増え

た入込客が宿泊に結びついたのか。

町長 宿泊型へと移行できない状況であり、広告宣伝や新たなイベントを取り組んで宿泊に結び付けたい。また県や観光協会と組織して宿泊に向けた取り組みをしていく。

● 地方創生の事業効果は

有吉 地震や大雨の災害発生に伴い、風評被害対策として地方創生事業で対策されているが、事業と効果の状況はどうか。

町長 インバウンド対策で台湾を中心としたプロモーション活動を行った。中村駅等ではかなりの外国人観光客の姿がみられる。風評被害対策については博多駅や天神駅でソラリアビジョンの放映や国の復興割、町単独のプレミアム旅行券の発行等を行っている。

増田 裕子



南山田の水工場撤退について 町としての取り組みと姿勢は

…………… 最大限努力をして、皆さんの期待に応えるような行政でやっていきたい

**一工場だけの問題ではなく、
町の企業誘致に対する
基本姿勢が問われている**

増田 九月に工場本社から町へ撤退の連絡があったというが、現場従業員には十月末に「十二月いっぱいまで解雇」という説明があっただけと聞く。町は事実経過をどう把握しているか。

町長 平成20年11月に町と当時の親会社で立地協定を結び、平成22年から現地法人を設立して操業してきた。

町長 町はこの水工場の親会社と土地賃貸契約等を結んでいる連帯保証人というふうな立場である。

九月に親会社から、水工場については三月末で閉鎖、土地の契約を三月末で終了という話があったが、いまだに正式な文書報告は出てきていない状況だ。

増田 そもそも水工場は町が誘致したはずだが、その経過は。



南山田・川底にある水工場(万年山の伏流水が湧き出る)

しかし平成25年、現地法人は解散し、協定を結んだ会社は現在の親会社に経営を委ね現在に至っている状況である。

増田 このままでは九重町民五人玖珠町民三人の合計八人が就労の場を失うことになる。町も間に入り誘致した工場の撤退ということに對して、町の責任と対応は。

町長 企業誘致は、町にとって重要な戦略の一つである。できるだけこの雇用が続くように、工場を引き継いでもらう会社を探したい。同時に企業との今後の話し合いについては、別に切り離しながら進めていきたいと考える。

増田 企業誘致に対する町の基本姿勢は。企業誘致とい

うのは住民との合意

形成の中で進めていかなければならない。最たるものは雇用。企業といかに信頼がある関係に築いていくか、協定をしっかりと結び住民のためになる施策・政策をするのが私たちの役目であると考えます。

● **もつと町民に投げかけて、
町民を育て、
町が後押しする方向を！**

増田 この工場に関しては早急に引き継げる会社を探してほしい。また将来的には、町内で起業して運営し町のブランドとして売り出す、町内でも積極的に消費する等の構想の下に人材を育成してはどうか。

町長 起業ということは難しいけれども人材を育てれば起業できる可能性は十分にある。そういう環境になるような人をつくっていき、その支援を私たちが側面からしていくという考えだ。しっかりとやっていきたい。

藤原 三治



どうする九重町の農業と観光は

.....道の駅は考えていない

● 若者が育ち、食べて
いける農業にするには

藤原 人口減少、高齢化、

農業者不足、流れ変えるには、今こそ大胆な改革をすべきと考える。町は産学官連携で大学の力を借り、資源や特産品の開発や、道の駅設置等で売り場面積の拡大を行い、六次産業にむけて取り組んではどうか。



九重ふるさと館

町長

本年度より、まち、ひと、しごと創成戦略で、特産の加工開発に補助を行っている。町は大分大学と連携協定を結んでおり、大学の力を無償で借りる制度を活用してほしい。道の

駅についてはふるさと館と競合を考え、建設計画はない。

● 滞在型観光の
取り組みは

藤原

ふっこう割で増加した宿泊客が、国の支援事業が終わっても、リピーターとして来てくれるような、努力、指導はやっているのか。

町長

通過型から滞在型へ移行ができていない。町は地方創生の支援で、宿泊者に抽選で豊後牛と「夢」ポークの詰合せを贈呈している。

おもてなしについては、観光協会と現状を分析し、対策を講じていきたい。



土産品を選ぶ観光客

● 野矢、淮園地区にも
公営住宅はできないか

藤原

小学校存続、若者流失を防ぐためにも、野矢、淮園地区にも町営住宅はできないか。

町長

小学校存続のために公営住宅を建てた町もあるが、現在奥野に若者向け住宅を整備中であり、飯田にも建設予定である。今後の公的事業を考えると財政上非常に厳しいと考える。空き家改修事業や家賃助成等の活用をしてもらいたい。



野矢小学校

できない理由を

探すよりできる方法を考えるのが行政では！

藤原

財政的に厳しければ

町で行うには地域挙げてのソフト面の充実がなければ、子育て世帯が入ってくるのは厳しいと考える。今年から宅地バンク制度も作り、家を解体し、宅地として分譲する制度も設けているので活用してもらいたい。



淮園小学校

金のかからない、都原方式で（町が宅地造成して、三年以内に、町産材や、町内の設計、建設業者使用の）条件を付けて、格安で販売してはどうか。長い歴史と恵まれた自然と教育環境、耐震した校舎を活用し若者定住のためにも前向きに取り組んではどうか。

佐藤
明郎



この町をどう導く

町民の満足度が第一

計画に終わっているふれあい懇談会
今、最も必要な事業だ

佐藤 ふれあい懇談会は職員が定期的に各地区に出向き、住民と行政が様々な地域の課題を共有する、として計画したが、実施されていない。

町長 町民の声をしっかりと聞く、それが私の第一の仕事であり、これから動く。

● 町政、どこに重点を置く

佐藤 農業、観光、人口減

● 人権・同和問題
障害者支援を質す

佐藤 前町長が、グループホームの早期実現に努力すると約束した。どうする。

町長 必要性は十分承知している。実現していきたい。

佐藤 同和問題は、行政の責任と明記されている、町長の考えは。

町長 非常に重要なこと、当然の責任として取り組む。

少、各産業、問題は山積だ。どこに重点を置く。

町長 一番大切なことは、住んでる人達が、元気で、この町に居て良かったと喜べることで、それが原点になる。

佐藤 ならば、町政に町民の声が反映されねばならず、改めて、ふれあい懇談会が必要である。

町長 そのことを十分認識して、行動をとっていく。



人権フェスティバルで発表するタンポポの会

多目的グラウンドに代る環境整備 町民のやさしさに甘えていないか



旧東中グラウンドに拠点を移したグランドゴルフ

佐藤 町民のために整備した多目的グラウンド、中学優先になっっている現実はいたしかたないが、開校前、町民との約束が異なっている。代替地を検討するとの回答だったがどうなったのか。

町長 町民が利用しにくくなった現実もある。しかし一方で、中学にとっては、大きな成果も表われている。多目的グラウンドを中学校

が優先的に使用することについては、もう少し町民との合意形成が必要である。

佐藤 それであれば、なおさら、町民に説明し、行政の責任として代替地を整備すべきで、多額の予算は必要ないと考える。

町長 町民への周知が徹底していなかった反省もあり、町民との話し合いなどで今後、検討していく。

町政今後の方向性は

……………住民が主役、住民の気持ちに応えられる町政を行って行く



佐藤 太治

● 今後の町政の取り組み方について

佐藤 町長は町職員の協調と距離感をどのようにとり町政に取り組んでいくのか伺う。

町長 行政の中では職員が主役になるべきであると考えている、物事を実施するときには住民が主人公、職員は脇役という認識を持って、町政に取り組むという流れを作ることが大切だと考えている。

● 農業、観光、福祉、どこに重点を置くか

佐藤 今後九重町は何に重



新町長が「かじ」をとる九重町の庁舎

点において町政をしなければならぬか伺う。

町長 町政の方針は現場を大切にし、今現場にどんな課題があるか、早急に対応する課題、将来に対応する課題かを職員と、話し合いながら進め、10年後、20年後を見すえ最終的には住民の気持ちに応えられる町政をおこなっていく。

● 議会との協調と距離感の取り方

佐藤 議会の役割は議案を審議し議決する事が主な役割。町民、議会、行政、が一体となった三位一体で町政を運営して行くことも重要であるとおもう。議会とは両輪であると言ったわりには、報告、連絡、相談と一体感が感じられなかった。

今後議会と行政の関係は、町政を運営していくには重要な両輪だと認識しているか伺う。

町長 町民、議会、行

政と三位一体とスクラムを組みオール九重で是非々の議論をしながら町政に、取り組む事が重要であると考えている。

● 各地区の集会所の取り組みは

佐藤 各地区の集会所は多



老朽化した集会所

くの所が老朽化し建て替えて、補修が必要になってきている、又災害時には避難所としての需要もある。改修工事の補助額や補助率はどうなっているか。

町長 改修工事の上限額は27年度から150万円、補助率は3分の2であり趣旨はバリアフリー化や水回り等の長寿命化である。

佐藤 費用の分担金拠出が厳しくなっている。その地区で出せる分担金額とはならないか。

町長 平成27年6月に負担金20%を10%とし、地元負担を軽減するという措置もとってきている。

あたしのひとこと

オルレを歩いて

飯田 中村下二

時松 照子さん



11月のある日、夫とオルレやまなみコースを初めて歩きました。突然の「今日オルレ歩いてみらん？」の誘いに思い立ったが吉日で、スニーカーを履き、カメラとお茶を持って30分後には歩き始めていた。

この気軽さ！もつと早くに歩いておけば良かった。行く道も杉山の中、川沿いの土手、馬道や雑木林など変化に富んでいて飽きません。コースを外れないように木の枝に結ばれたりポンをたどりながら地図を片手に歩くのも楽しい。吊り橋から長者原まで

の11・1キロ、全体的に緩やかな上り坂です。休憩をとらなかつた為3時間かからずに完歩できました。「歩いて良かった。他のコースも歩いてみたい。」と話はずみしました。

実際、オルレを歩く人は九州内に17あるいろいろなコースを巡っている人が多いです。「やまなみコースは何回も来てます。」という人も結構いて、中高年の方が多い様です。特別な準備もいらず、身軽に観光ができて健康的。人気が出てきているのも頷けます。町の振興にもつながっていくばいと思います。



オルレやまなみコース

地域の子どもたちと共に

野上 中央三

日野 隆一郎さん



私の趣味は走る事です。

と言っても高校時代に陸上部に入ったものの結果が出せず、結局途中で辞めてしまったので過去に陸上の経験があると言えるほどではありません。

そんな私ですが、ある大会をきっかけに、子どもの頃感じた走る事の楽しさを思いだし時間がある時に少しずつですが今でも走っています。

そして今年度から同じ地区の子どもたちと一緒に、山田義高さんに指導をお願いして、走るのあまり得意ではない子どもも楽しく走れるような陸上クラブを始めました。

「何で走ってるの？」とたまたに聞かれる事があります。確かに走る事は楽しいと言えます。ただ走り終わった後の達成感には自分に対して自信を持つことが出来ました。

この走る事を通して子どもたちに走る事や体を動かす事の楽しさ、そしてこつこつやり続ける事で得るものや自分に自信を持つ事の大切さなどが少しでも伝えられることが出来ればいいなと思っています。

そして私自身も子どもたちに負けないように少しでも長く楽しく走る事を続けていきたいと思っています。



練習にはげむ子どもたち

傍聴へどうぞ 次回は3月です



飯田地区人・同啓 の視察（臼杵市にて）



南山田げんき祭り



このえ ふしと使い 第4便



地域みんなで 餅つきの風景 （松木・本村）



野上地区大運動会

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。昨年は熊本・大分地震、梅雨のゲリラ豪雨等により全ての業種が厳しい一年でした。年末まで復旧もだいぶん進んでいましたが、一日も早い復興を願っています。

昨年10月26日に日野町長の就任、12月1日から16日までの16日間、新人議員1名を加えて13名で本年度第4回定例会が、無事に閉会しました。

本会議で7名による一般質問、常任委員会各議員より多くの質疑が交わされました。

新しい年は災害がない、少しでも明るい希望に満ちた年になるように願っております。

大津留敏加

- ・広報委員長 大津留敏加
- ・副委員長 佐藤明郎
- ・委員 井上里子
- ・委員 坂本憲治
- ・委員 藤原三治
- ・委員 有吉富生